博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

山博友の会共催事業『鷹狩山　春のバードウォッチング』

平成29年５月13日（土）

この事業は「小鳥の声を聞く会」として平成24年まで実施しており、一時中断していましたが、再開の声が高まったのを受け、心機一転、名前を変えて復活しました。当日の講師として、野鳥の生態に大変お詳しい腰原正己先生と鳥羽悦男先生の２名に来ていただきました。

当日は雨天のため、野外観察は実施できませんでしたが、多くの方にご参加いただき、講師の先生お２人からスライドを用いた講座や博物館常設展示物などを用いた解説を聞いて鷹狩山や大町市周辺に生息する野鳥について学んでいただきました。

最後には友の会からの山菜汁の提供があり、お昼ご飯を食べながら和やかな雰囲気の中で情報交換会をおこないました。非常に意欲関心の高い方が多く、鋭い質問も多くあり、良い情報交換の場になったと感じました。

参加していただいた皆様には、本事業をとおして、野鳥の生態について知識を深めていただくことができたと思います。また、野鳥だけでなく自然環境全体に関する学習のきっかけになれば幸いです。冬期には「木崎湖　冬のバードウォッチング」を実施予定ですので、ぜひご参加いただければと思います。

平成29年度 長野県博物館協議会 総会

平成29年５月18日（木）～19日（金）

１日目の総会は、サン・アルプス大町を会場に開催され、安曇野市豊科郷土博物館・新市立博物館準備室（長野県）の倉石あつ子氏による「一つぶで何度でも美味しい安曇野」と題した記念講演会もあわせて開催されました。

２日目の研修では、山岳博物館の展示をご覧いただいた後、国宝仁科神明宮へ移動して、大町市文化財センター所長島田哲男氏より解説いただきました。

来年度は、長野県博物館協議会50周年および北信越博物館協議会60周年の記念の年にあたり、長野市において盛大に開催される予定です。

第16回 北アルプス雪形まつり 雪形ウォッチング

平成29年５月14・28日（日）実施

第16回北アルプス雪形まつりのフィナーレを飾る雪形ステージが文化会館を会場に６月10日に行われました。

この雪形まつりの一環として、今年も５月８日から31日までの24日間、あづみ野雪形研究会の皆さんの協力をいただき、ギャラリ・い一ずらを会場に雪形写真展を開催しました。５月14日・28日には白馬村から安曇野市にまたがり伝承される雪形をバスで巡る雪形ウォッチングを開催し、20人余りの方が始めて見る雪形に歓声をあげていました。

来年も雪形ウォッチングを開催致しますので、ぜひ参加してみてください。

ライチョウの飼育に役立てて！ 大町温泉郷宿泊施設から寄付金受領

平成29年５月29（月）実施

山岳博物館で飼育しているニホンライチョウ（絶滅危惧ⅠＢ類）のヒナ誕生に期待が高まるなか、飼育に役立ててほしいと、大町市教育委員会に大町温泉郷観光協会と黒部観光ホテル（大町温泉郷）より寄付をしていただきました。

寄付は、同ホテルが売り上げの一部をライチョウのために充てる宿泊プランの販売と募金箱の設置をきっかけに、その支援活動が募金箱の設置として大町温泉郷の宿泊施設に広がったものです。いただいた寄付金は、ライチョウの飼育研究に役立てられることになります。

八坂中学校職業体験学習

平成29年６月６日（火）～７日（水）

山岳博物館では、学校教育におけるキャリア教育として、市内や近隣町村の中学生や高校生の職業体験学習を受け入れて実施しています。

この度は、市内中学校の生徒１人が付属園で飼育動物の餌の調理、飼育舎の清掃等を動物飼育員の指導のもとで体験していただきました。

生徒からは、「好きな動物の飼育を手伝えて良かった」、「危険なことも多い仕事ということを知った」などの感想をいただきました。

今回の体験を今後の進路の参考にしていただければ幸いです。

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM —創立 1951 年—
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211　FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

7月号
第 62 巻　第 6 号
2017 年

発行日　2017（平成 29）年 6 月 25 日

印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030　FAX.0261-23-2010

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM 市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

7月号
第 62 巻　第 6 号
2017 年

無料 Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・ライチョウの人工繁殖について ５個目の産卵（奥左）ほかの４個は擬卵（６月11日）
さんぱく研究最前線 …… ２ページ
・後立山連峰の登山史に関する文献資料調査
展示・イベントのご案内 …… ２～３ページ
・共同企画展「北アルプスの百年　百瀬慎太郎と登山案内人たち」
・さんぱくこども夏期だいがく 雑草・雑木で和菓子と楊枝を作ってみよう
・自然ふれあい講座 みんなで温暖化ウォッチ セミのぬけがらを探せ！
博物館のひろば …… ３・４ページ
・鷹狩山 春のバードウォッチング　・長野県博物館協議会総会
・雪形ウォッチング・ライチョウに役立てて！温泉郷宿泊施設から寄付金受領
・八坂中学校職業体験学習

博物館施設案内はこちら

山岳博物館山博で19年ぶりのライチョウの産卵

５個目の産卵（奥左）　ほかの４個は擬卵（６月11日）

宮野　典夫

山岳博物館の付属園で飼育しているライチョウのツガイは、４月22日に見合いを開始しました。オス、メスともに金網などで隔てられているものの、お互いに近くに寄る行動がみられました。

５月12日、オスもメスも羽の色が夏羽になってきたので、同居を開始しました。同居直後にオスは一目散にメスに近づき、ライチョウ独特の求愛ダンスをすることもなく、メスの上に乗る行動を始めましたが、メスはまだ受け入れの準備ができていない様子でした。この日は14分間の新婚一日目でした。

その後、12日間かけて同居時間を伸ばし、５月26日からは１日に約６時間の同居としました。

同居開始から13日目の５月25日ころからは、今までとは明らかに違うオスとメスの行動がみられました。メスの後を追いまわしていたオスが、メスとの距離をとるようになり、メスは「クーッ、クーッ」と鳴きながら腰を下げるしぐさをするようになりました。

６月３日午後３時ころ、卵を産めるように用意した砂を敷いた容器にシェルター（カゴを活用した隠れ処）をかぶせた場所に最初の卵を産みました。

初卵以降は１日おきに産卵をしましたが、産む時間はどれも午後３時から６時の間でした。巣に座っているのは約30から60分です。

４個目の産卵からは、メスは巣を離れる前に、産んだ卵の上に松の葉をかぶせて立ち去る、野生と同じような行動をするようになりました。

今年度は、人工孵化（ふか）・育雛（いくすう）をする計画ですので、産卵する毎に卵を取り上げて、擬卵と入れ替えました。

（市立大町山岳博物館 指導員）

後立山連峰の登山史に関する文献資料調査
― 冊子『北アルプス登山史資料』編集・発行 ―

関　悟志

登山史文献調査・収集の成果

山岳博物館では、北アルプス後立山連峰における登山の歴史（登山史）で、とくに重要な過去の登山のようすを知ることができる資料である記録文書（文献）を集めてまとめた冊子『北アルプス登山史資料』を山域ごとに編集し、2010(平成22)年以降、数年おきに発行してきました。

今年(2017年)３月、資料集の完結編となる第3巻を発行しました。一連の冊子の編集・発行は、当館でこれまで継続的に実施してきた関連登山史の文献調査とそれにともなう文献資料収集の成果を示したものです。

（左）『北アルプス登山史資料１―鹿島槍ヶ岳登山史―』
2010（平成22）年3月発行／ A4判295ページ
（中央）『北アルプス登山史資料２―白馬岳周辺登山史―』
2012（平成24）年3月発行／ A4判314ページ
（右）『北アルプス登山史資料３―黒部川側からの登山史・後立山南部地域登山史―』
2017（平成29）年3月発行／ A4判375ページ

（※実際の各冊子は全ページモノクロです。）

山岳図書資料館の利活用／友の会との協働

各冊子に収録した文献資料は、当館付属施設として2012年に開館した「山岳図書資料館」の蔵書を用いて、原典などから活字を文字入力して編集しました。文字入力の作業については、山岳博物館友の会サークル「山岳文化研究会」会員の皆さんからご協力をいただきました。

資料集の編集・発行は、同館の蔵書を利活用したもので、この施設の存在意義や担うべき役割に沿う事業であったとともに、市民や地域住民の皆さんを中心とした友の会との協働による調査研究の好事例となりました。

山岳図書資料館
（上：外観、下：内部のようす）
山岳博物館の敷地内に建つ、山岳に関する書籍等を集めた資料収蔵庫。現在約3万冊の蔵書を収蔵します。

山岳文化研究会
山岳博物館の外郭団体「友の会」のサークルのひとつ。山岳文化史に興味・関心を寄せる会員が集まります。

登山における記録の重要性

「登山者は記録を大切にする」という言葉を耳にします。これは、いわゆるレクリエーションの対象として山をとらえる近代登山や、より困難な登攀を目指すアルピニズムを志向した登山スポーツの世界が持つ特異的な性質を物語るものです。すなわち、「基本的に登山とは“観客のいない遊技”である」（菊地2007）といわれるように、一部の例外を除き、登山は第三者による直接目視が困難なスポーツであり、登頂や登攀に至る登山過程の報告は登山隊や個人からの自己申告によるものがほとんどです。

したがって、ことに初登頂や初登攀に挑む登山者にとっては、実施した登山をおおやけにして認められるためにも、登山過程を具体的に記した記録とその報告が重要視されます。

山と人とのかかわりをさらに深くとらえていくために

資料集に収録した記録は、淡々と状況のみを記した冬期や岩壁での登攀の厳しさをうかがわせる登攀記もあれば、時代背景を物語る大らかな山旅の薫りただよう山岳紀行文といったものもあります。そうした一連の記録から当時の登山における様子をつぶさに読み取ることは、各時代における登る目的や手段・方法、さらに登る人が持ちあわせた精神性を知ることができ、北アルプス後立山連峰を舞台にした“山と人とのかかわり”の一幕を読み解く上で非常に大切なことです。

当館で編集・発行した登山史資料集は、初登頂・登攀に焦点を絞り、関連記録を収録したものであり、北アルプスの登山史を理解する上で必須の文献情報を集約した基礎資料です。

今後は、こうした登攀史や登山史を含めた“北アルプスの山岳文化史”の広い視点から、山と人とのかかわりをさらに深くとらえていきたいと考えています。　（市立大町山岳博物館 学芸員）

今回ご紹介した各冊子は、長野県内の市立図書館及び中信地区の公立図書館、国立国会図書館等に寄贈・納本していますので、閲覧希望の場合は最寄りの公立図書館にご照会いただくか、当館へ直接お問い合わせ願います。また、各冊子に掲載した文献資料の原典等を閲覧希望の場合は当館へお問い合わせください。

市立大町山岳博物館・大町登山案内人組合創立100周年記念事業実行委員会　共同企画展
大町登山案内人組合創立100周年記念

「北アルプスの百年 百瀬慎太郎と登山案内人たち」

今年創立100周年を迎える大町登山案内人組合ゆかりの写真や品々を展示。同組合の足跡とその存在を全国に発信するとともに、大町市周辺山域の山の魅力をご紹介します。

□会　期　８月５日（土）～11月26日（日）
□時　間　午前９時～午後５時（入場は午後４時30分まで）
□会　場　市立大町山岳博物館 特別展示室
□費　用　通常の入館料が必要
（常設展と共通：大人400円、高校生300円、小中生200円）
※ただし、未就学児、市内小中学生、65歳以上の市民は入館無料。また、毎月第３日曜日の「家庭の日」とその前日の土曜日にかぎり、市民は入場無料

□関連催し
▽オープニングセレモニー
・日　時　８月５日（土）午前９時～午前９時45分
・会　場　博物館 玄関 ほか（雨天時：講堂・ホール ほか）
・参加費　無料（申込不要。ただし、企画展見学及びミュージアムトーク参加には通常の入館料が必要）

▽ミュージアムトーク
・期　日　８月５日（土）・９月17日（日）・10月７日（土）・11月３日（金・祝）
・時　間　各日とも 午前10時～、午後２時～（各20分程度）
・会　場　博物館 特別展示室
・参加費　通常の入館料（申込不要）
・内　容　大町登山案内人組合所属の登山ガイドを講師に迎え、組合のあゆみや現在の活動、大町市周辺の山岳の様子についてお話しいただきます。

イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー
博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。７月は15日（土）と16日（日）です。

さんぱくこども夏期だいがく
雑草・雑木で和菓子と楊枝を作ってみよう

恒例となりました「さんぱくこども夏期だいがく」。今年は雑草で和菓子作りに挑戦します。里地里山で見られる雑草や雑木を使って、和菓子作りに挑戦します。また、削って作った楊枝で食してみます。そのお味はいかに。

□主　　催　　市立大町山岳博物館
□協　　力　　大町山岳博物館友の会サークル「花めぐり紀行」
□日　　時　　平成29年８月３日（木）
午前９時30分～正午　※雨天実施
□会　　場　　山岳博物館 講堂・付属園
□対象・定員　小学生　20名
※定員になり次第、締め切ります。
□参 加 費　　無　料
□服装・持ち物　長ズボン、長そで、エプロン、タオル、水筒、筆記用具、お菓子を持ち帰るための容器、切出（持っている方）

※定員になり次第締め切ります。楊枝づくりで切出（小刀）を使用するため、小学３年生以下またこれまでに切出等の刃物を扱ったことのない児童が参加する場合は、保護者同伴でお願いします。

□申し込み　７月25日（火）までに電話または有線で山岳博物館へ。

□問い合せ　山岳博物館
TEL 22－0211　FAX 21－2133

楊枝にはこの植物を使います。なんという名前でしょうか。

自然ふれあい講座 みんなで温暖化ウオッチ
セミのぬけがらを探せ！

地球温暖化が身近な自然にどのような影響を及ぼしているのかを知るために、セミのぬけ殻を調べます。

毎年、同じ場所で調べ続けることで、自然の変化がみえてきます。その変化から地球温暖化の地域への影響について考えます。夏休みの自由研究としてもぜひご参加ください。

□主　催　　長野県環境保全研究所
市立大町山岳博物館
□協　力　　自然観察指導員長野県連絡会
セミの抜け殻しらべ市民ネット
□日　時　　平成29年８月４日（金）
午前10時～正午　※雨天実施
□集合場所　市立大町山岳博物館駐車場
□会　場　　山岳博物館周辺（大町公園周辺）
□対象・定員　どなたでも可　20名
（内容は小学生向け、園児の場合は大人同伴）
□参加費　　無料
□持ち物　　飲み物、帽子、タオル、筆記用具
□申込方法　郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を添えて、電話・ファックス・Ｅメール等で下記までお申込み下さい。

□申込・問い合わせ
長野県環境保全研究所　（担当：栗田）
TEL 026-239-1031　FAX 026-239-2929
Eメール kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

昨年（平成28年）の観察風景